

2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 サカタインクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4633 URL <http://www.inx.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 上野 吉昭
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 菅原 大輔 TEL 06-6447-5823
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	43,223	4.7	2,772	45.3	2,849	154.8	1,833	180.2
2020年12月期第1四半期	41,269	0.2	1,908	20.1	1,118	△40.4	654	△40.2

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 6,198百万円 (ー%) 2020年12月期第1四半期 △2,344百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	31.39	—
2020年12月期第1四半期	11.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第1四半期	153,065	86,842	53.1	1,392.04
2020年12月期	145,272	81,421	52.6	1,307.13

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 81,321百万円 2020年12月期 76,360百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	82,400	3.7	3,200	0.6	3,800	47.1	2,600	73.6	44.50
通期	170,000	5.3	8,000	10.9	9,200	18.1	6,400	21.3	109.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	62,601,161株	2020年12月期	62,601,161株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	4,182,725株	2020年12月期	4,182,625株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	58,418,461株	2020年12月期1Q	58,398,908株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 四半期決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により厳しい状況にある中、社会・経済活動の段階的な再開やさらなる経済対策の効果などにより、全体としては持ち直しの動きが続きました。

このような状況の中で、当社グループはコア事業である印刷インキ事業において、各拠点での拡販に注力するとともに、環境配慮型・サステナブル製品の開発・積極展開、TPM活動の継続と深化による生産性向上などに取り組まれました。また、印刷インキの主要原材料につきましては、原油価格の上昇や中国における環境規制の強化に加え、感染症やアメリカの大寒波などの影響によるサプライチェーンの混乱及び需給バランスの悪化により、供給不足や価格の高騰が生じております。このため、製品の安定供給を最優先として、グループ会社間の連携強化やグローバル調達などによるサプライチェーンの安定化に取り組まれました。一方、機能性材料事業では、インクジェットインキをはじめとして、トナー、カラーフィルター用顔料分散液などの従来製品の拡販に加え、社会トレンドを捉えた高付加価値製品の開発に取り組まれました。

売上高は、円高による為替換算の影響を受けたものの、パッケージ関連の印刷インキはアジアで販売回復が進むなど堅調であったことに加え、新規連結による増収が寄与したことなどから、432億2千3百万円（前年同期比4.7%増加）となりました。

利益面では、パッケージ関連の印刷インキ事業や機能性材料事業において、販売数量の増加に加え、コスト削減が寄与したことなどから、営業利益は27億7千2百万円（前年同期比45.3%増加）となりました。経常利益は、持分法による投資利益が増加したことに加え、為替差損が減少したことなどから、28億4千9百万円（前年同期比154.8%増加）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億3千3百万円（前年同期比180.2%増加）となりました。

(参考) USドルの期中平均為替レート

	第1四半期 連結会計期間
2021年12月期	105.90円
2020年12月期	108.92円

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるため、全社費用の配分基準の見直しを行っております。これに伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の費用配分方法に基づき作成したものを記載しております。

(単位：百万円)

	売上高					営業利益又は営業損失(△)			
	前期	当期	増減額	増減率	(※)実質	前期	当期	増減額	増減率
印刷インキ・機材(日本)	12,153	11,713	△439	△3.6%	△3.6%	277	398	120	43.3%
印刷インキ(アジア)	7,873	8,832	959	12.2%	13.6%	520	687	166	32.1%
印刷インキ(米州)	12,827	12,676	△151	△1.2%	3.2%	784	988	203	26.0%
印刷インキ(欧州)	2,752	3,876	1,124	40.9%	35.6%	△78	57	135	—
機能性材料	3,111	3,346	234	7.5%	7.2%	232	427	195	83.9%
報告セグメント計	38,717	40,445	1,727	4.5%	5.8%	1,737	2,558	821	47.3%
その他	4,516	5,066	549	12.2%	12.2%	114	150	36	31.8%
調整額	△1,964	△2,288	△323	—	—	57	63	6	—
合計	41,269	43,223	1,953	4.7%	6.0%	1,908	2,772	863	45.3%

(※)実質増減率：海外連結子会社の為替換算の影響を除いた増減率

印刷インキ・機材（日本）

パッケージ関連では、グラビアインキは内食関連の需要が比較的堅調であったものの、外出自粛によるレジャー消費やコンビニエンスストアにおける需要の停滞などにより前年同期を下回りました。フレキソインキは好調な通販関係や家飲み需要に支えられ前年同期を上回りました。印刷情報関連では、デジタル化の影響に加え、感染症の影響により広告需要が低迷したことなどから、新聞インキ、オフセットインキともに前年同期を大きく下回りました。以上のことから、印刷インキ全体では前年同期を下回りました。機材につきましては、印刷製版用材料が低調であったことから、前年同期を下回りました。これらの結果、売上高は117億1千3百万円（前年同期比3.6%減少）となりました。

利益面では、印刷情報関連の印刷インキ及び機材販売が低調であったものの、パッケージ関連の印刷インキは比較的堅調に推移したことに加え、全般的なコスト削減が寄与したことなどから、営業利益は3億9千8百万円（前年同期比43.3%増加）となりました。

印刷インキ（アジア）

主力であるパッケージ関連のグラビアインキは、インドネシア、ベトナムなどが堅調に推移し、昨年の上半期に事業活動に大きな制約を受けたインドにおいても、回復傾向が続きました。印刷情報関連では、インドは感染症の影響により需要の回復が鈍かったものの、経済活動の回復に伴い中国は好調に推移しました。売上高は、販売数量が増加したことなどから88億3千2百万円（前年同期比12.2%増加）となりました。

利益面では、原材料高が影響したものの、販売数量が増加したことなどから、営業利益は6億8千7百万円（前年同期比32.1%増加）となりました。

印刷インキ（米州）

主力のパッケージ関連では、旺盛な需要を背景として、顧客密着型の技術サービスの充実による環境配慮型製品の拡販に取り組み、フレキソインキ及びグラビアインキが堅調に推移しました。メタルインキは環境負荷の観点からアルミ缶に対する需要が高まっており、引き続き堅調に推移しました。印刷情報関連であるオフセットインキは、UVインキなどが堅調に推移したものの、デジタル化や感染症の影響を受けて広告需要が低迷したことから、全体としては前年同期を下回りました。売上高は、パッケージ関連の販売が堅調であったものの、円高による為替換算の影響を受けたことなどから、126億7千6百万円（前年同期比1.2%減少）となりました。

利益面では、パッケージ関連の販売が堅調であったことに加え、コストの削減が寄与したことなどから、営業利益は9億8千8百万円（前年同期比26.0%増加）となりました。

印刷インキ（欧州）

前年同期比では感染症の影響に伴う需要増に対する反動減があったものの、全体としては販売が堅調に推移しました。売上高は、ドイツの子会社を連結の範囲に含めたことに加え、欧州通貨高・円安による為替換算の影響を受けたことなどから、38億7千6百万円（前年同期比40.9%増加）となりました。

利益面では、新規連結による増益に加え、組織再編や生産能力増強によるコスト削減が寄与したことなどから、営業利益は5千7百万円（前年同期は7千8百万円の営業損失）となりました。

機能性材料

インクジェットインキは、感染症の影響により落ち込んでいた広告需要が海外を中心に回復傾向にあることなどから、前年同期を上回りました。カラーフィルター用顔料分散液は、パネルディスプレイ市場の好況が続き、堅調に推移しました。トナーは、感染症の影響により落ち込んでいたオフィス用途の需要が一部で上向いてきたことなどから、前年同期を上回りました。これらの結果、売上高は33億4千6百万円（前年同期比7.5%増加）となりました。

利益面では、デジタル印刷材料の販売が増加したことに加え、在庫評価減の一巡や諸経費の削減により利益率が改善したことなどから、営業利益は4億2千7百万円（前年同期比83.9%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したものの、主に新規連結による影響により、投資有価証券が減少した一方、売上債権、たな卸資産、有形固定資産が増加したことに加え、12月末比で円安が進み為替換算の影響を受けたことなどから、前連結会計年度末比77億9千2百万円(5.4%)増加の1,530億6千5百万円となりました。

負債は、借入金が増加したものの、主に新規連結による影響により仕入債務が増加したことに加え、社債の新規発行による増加や円安による為替換算の影響を受けたことなどから、前連結会計年度末比23億7千2百万円(3.7%)増加の662億2千2百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加に加え、その他の包括利益累計額が増加したことなどから、前連結会計年度末比54億2千万円(6.7%)増加の868億4千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、アジアの印刷インキや機能性材料の販売回復が想定以上に進み、欧米の印刷インキの販売も引き続き堅調であったことに加え、諸経費をはじめとしてコストを抑制できたことなどから、当初予想に対する利益の進捗は高い結果となりました。一方、印刷インキの主要原材料の調達環境は悪化しており、原油価格の上昇や中国における環境規制の強化に加え、感染症やアメリカの大寒波などの影響によるサプライチェーンの混乱及び需給バランスの悪化により、供給不足や価格の高騰が生じております。これに伴い、今後さらに原材料費や輸送コストの増加などが見込まれるため、サプライチェーンの安定化とともに、販売価格の改定及びコスト削減のさらなる推進にグループ全体で取り組んでおりますが、変異型コロナウイルスの広がりなどの懸念材料もあり、短期的な経営環境はより厳しくなる見通しであります。これらを踏まえた結果、第2四半期連結累計期間及び通期の当初予想を据え置くことといたします。なお、今後の経営環境及び業績動向等を注視し修正が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,427	11,683
受取手形及び売掛金	43,083	46,055
商品及び製品	10,462	11,103
仕掛品	1,119	1,198
原材料及び貯蔵品	9,602	11,543
その他	1,542	1,946
貸倒引当金	△596	△598
流動資産合計	77,640	82,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,134	16,860
機械装置及び運搬具(純額)	9,282	9,837
土地	8,847	9,268
リース資産(純額)	414	370
建設仮勘定	3,514	4,525
その他(純額)	2,144	2,241
有形固定資産合計	40,338	43,104
無形固定資産		
のれん	501	489
その他	206	377
無形固定資産合計	707	866
投資その他の資産		
投資有価証券	25,176	24,733
その他	1,824	1,874
貸倒引当金	△414	△447
投資その他の資産合計	26,586	26,161
固定資産合計	67,632	70,132
資産合計	145,272	153,065

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,376	18,974
電子記録債務	11,309	9,653
短期借入金	4,533	3,484
1年内返済予定の長期借入金	2,771	2,651
未払費用	3,563	3,819
未払法人税等	614	829
賞与引当金	555	953
その他	2,590	2,716
流動負債合計	42,315	43,080
固定負債		
社債	—	1,000
長期借入金	9,754	9,777
退職給付に係る負債	4,940	4,945
資産除去債務	71	72
その他	6,768	7,347
固定負債合計	21,535	23,142
負債合計	63,850	66,222
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,472	7,472
資本剰余金	5,672	5,672
利益剰余金	73,918	74,743
自己株式	△4,027	△4,028
株主資本合計	83,035	83,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,652	2,177
繰延ヘッジ損益	△0	△1
為替換算調整勘定	△7,281	△3,699
退職給付に係る調整累計額	△1,045	△1,016
その他の包括利益累計額合計	△6,674	△2,539
非支配株主持分	5,060	5,521
純資産合計	81,421	86,842
負債純資産合計	145,272	153,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	41,269	43,223
売上原価	32,027	33,131
売上総利益	9,242	10,092
販売費及び一般管理費	7,334	7,319
営業利益	1,908	2,772
営業外収益		
受取利息	21	18
受取配当金	110	110
持分法による投資利益	20	305
その他	113	107
営業外収益合計	266	541
営業外費用		
支払利息	65	49
為替差損	969	382
その他	22	32
営業外費用合計	1,057	464
経常利益	1,118	2,849
特別損失		
有形固定資産売却損	—	22
投資有価証券評価損	3	—
組織再編費用	53	—
特別損失合計	56	22
税金等調整前四半期純利益	1,061	2,827
法人税、住民税及び事業税	582	790
法人税等調整額	△202	28
法人税等合計	379	819
四半期純利益	681	2,007
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	174
親会社株主に帰属する四半期純利益	654	1,833

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	681	2,007
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,547	465
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△1,035	2,714
退職給付に係る調整額	16	29
持分法適用会社に対する持分相当額	△459	983
その他の包括利益合計	△3,025	4,191
四半期包括利益	△2,344	6,198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,222	5,738
非支配株主に係る四半期包括利益	△121	460

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)(新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルスの感染症拡大の影響に関する仮定についての重要な変更を行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	印刷 インキ・ 機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (米州)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	12,150	7,820	12,596	2,589	3,093	38,250	3,019	41,269	—	41,269
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	52	231	162	18	466	1,497	1,964	△1,964	—
計	12,153	7,873	12,827	2,752	3,111	38,717	4,516	43,234	△1,964	41,269
セグメント利益又は 損失(△)	277	520	784	△78	232	1,737	114	1,851	57	1,908

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成製品事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額57百万円には、セグメント間取引消去179百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△121百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	印刷 インキ・ 機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (米州)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	11,711	8,771	12,540	3,674	3,327	40,026	3,197	43,223	—	43,223
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	60	135	202	18	419	1,869	2,288	△2,288	—
計	11,713	8,832	12,676	3,876	3,346	40,445	5,066	45,511	△2,288	43,223
セグメント利益	398	687	988	57	427	2,558	150	2,708	63	2,772

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成製品事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額63百万円には、セグメント間取引消去229百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△165百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるため、全社費用の配分基準の見直しを行っております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の費用配分方法に基づき作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。